

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事故事例
2. 体験した事例の名称	酸素溶断機取扱訓練中の負傷事故（熱傷）
3. 体験した事例の中心的要素	金属製パイプを酸素溶断機にて切断するため、パイプの端を手で保持していたところ、パイプ内を酸素溶断機の炎が走り、パイプ両端から噴出し、保持していた隊員が熱傷を負ったもの。
4. 体験した事例の原因・理由	①パイプの端を保持していた ②パイプ内を酸素溶断機の炎が走ることを予測出来なかった

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 16年 5月 26日	午前 9時頃
2. 発生した当時の天候	晴	
3. 発生した活動現場	屋外：消防署敷地内	
4. 体験した事例の種類	他人が、回答者を負傷させた。	
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我	
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	火傷・熱傷、	
7. 事例体験時の活動	演習訓練、 [救助（通常時の訓練）、]	
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	器具操作訓練	
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。	

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[28]歳、勤続年数[6]年、現場経験年数[5]年、階級[消防士]、同様の活動[1年に数度]、任務[隊員]
○当事者B	年齢[28]歳、勤続年数[6]年、現場経験年数[5]年、階級[消防士]、同様の活動[1年に数度]、任務[隊員]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[], 同様の活動[], 任務[]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	A及びBが	酸素溶断機の取扱訓練を実施	
経過2	Aが	金属製パイプを保持	
経過3	Bが	酸素溶断機にて金属製パイプの切断を開始	
経過4	Aが	パイプ内を走った炎で右手を熱傷	
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？
 ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

危険情報を把握、予見できなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

危険予知訓練の実施及び資機材取扱訓練の反復。

○装備・資機材の対策について

資機材等の諸元、取扱留意点を再確認し、適切な取扱の実施。

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について



アークエアーにてパイプを切断する訓練状況



パイプの保持していた状況

(パイプの全長は、39 cm、切断箇所から保持位置まで
30 cm、直径 1.5 cm、内径 1 cm)



パイプから炎が噴出し火傷した状況



焼けた皮手袋